

学校コード F135310110130

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

宇部フロンティア大学 心理学部 心理学科

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人 香川学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	事務部
職名・氏名	部長・鈴木 武史
電話番号	0836-38-0500
（夜間）	0836-38-0500
e-mail	soumu@frontier-u.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 香川学園

(2) 大学名

宇部フロンティア大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒755-0805

山口県宇部市文京台二丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(アイハラ ツギオ) 相原 次男 (平成28年7月)	(ナガサカ ユウジ) 長坂 祐二 (令和2年7月)	任期満了による退任 (3)
学長	(ナガサカ ユウジ) 長坂 祐二 (平成30年4月)		
学部長	(コウダ アキラ) 高田 晃 (令和2年4月)	(タカヤマ トモユキ) 高山 智行 (令和4年4月)	任期満了による退任 (4)
学科長等		(クヌギモト ノリコ) 裾本 知子 (令和2年4月)	学科運営の円滑化を図るため選任、令和2年4月1日(2) 任期満了による退任(4)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
心理学部 心理学科 学士(心理学)	文学関係	4年	70人	2年次 0人 3年次 5人 4年次 5人	290人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に入力してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A	入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	0.64倍	—倍	0.69倍	—倍	令和3年度について、新型コロナウイルス感染症の影響で入国できなかった2名の外国人留学生は、入学数には含まれているが、入学数の内数としての留学生数からは除外している
	志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []					
	受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []					
	合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []					
B	入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []					
	入学定員超過率 B/A						0.77		0.74		0.61		0.47						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様に入力してください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る届出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	53 [3] (-)	— [-] (-)	52 [1] (-)	— [-] (-)	43 [2] (-)	— [-] (-)	33 [-] (-)	— [-] (-)	令和3年度の1年次について、新型コロナウイルス感染症の影響で入国できなかった2名の外国人留学生は、在学者数には含まれているが、留学生数からは除外している。 令和4年度は、3年次編入学生2名の人数を含めており、令和5年度は、3年次編入学生2名の人数を含めている。
2 年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[3] (-)	[-] (-)	[4] (-)	[-] (-)	[2] (-)	[-] (-)	
3 年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[2] (-)	[-] (-)	[4] (-)	[-] (-)	
4 年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[2] (-)	[-] (-)	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	53 [3] (-)	— [-] (-)	105 [4] (-)	— [-] (-)	143 [8] (-)	— [-] (-)	174 [8] (-)	— [-] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、**留学生の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	54人	1人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	1人	人	就職(1人)
令和3年度	105人	7人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	4人	1人	経済的理由(1人)、[経済的理由(1人)]、除籍(1人)、その他(1人)
			令和3年度	3人	人	就学意欲の低下(1人)、家庭の事情(1人)、進路変更(1人)
令和4年度	143人	5人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	1人	人	除籍(1人)
			令和3年度	3人	人	学生個人の心身に関する事情(1人)、経済的理由(1人)、他の大学への入学(1人)
			令和4年度	1人	人	学生個人の心身に関する事情(1人)、
令和5年度	174人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合計		13人		13人	1人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{54} = \boxed{1.85} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{7}{105} = \boxed{6.66} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{143} = \boxed{3.49} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{174} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜心理学部 心理学科＞

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	入門 心理学基礎ゼミナールⅠ	1前	1			4		3			1	
	心理学基礎ゼミナールⅡ	1後	1			4		3			1	
基礎科目	情報処理 情報処理演習(インターネット)	1前	1								1	
	情報処理演習(文書作成)	1前	1								1	
	情報処理演習(表計算)	1後	1								1	
	情報処理演習(プレゼンテーション)	1後	1								1	
	語学	日本語Ⅰ(留学生向け)	1前	1								1
		日本語Ⅱ(留学生向け)	1後	1								1
		日本語Ⅲ(留学生向け)	2前	1								1
		日本語Ⅳ(留学生向け)	2後	1								1
	語学	英語Ⅰ	1前	1								1
		英語Ⅱ	1後	1								1
		心理学ビジネス英語Ⅰ	2前	1								1
心理学ビジネス英語Ⅱ		2後	1								1	
心理学英語文献演習Ⅰ		2前	1								1	
心理学英語文献演習Ⅱ	2後	1								1		
基礎・教養科目	社会の理解 社会学	1前	2								1	
		1後	2								1	
	社会の理解 社会学	法学	1後	2			1					1
		経済学	1後	2								1
		経営学	2前	2								1
		地域文化論	1前	2								1
		ジェンダー・人権論	1前	2								1
	社会の理解 社会学	時事問題講読Ⅰ	3前	1								1
		時事問題講読Ⅱ	3後	1								1
		自然の理解 生物学	生物学	1前	2							
健康科学(食と健康)			1前	2								2
自然の理解 生物学	人体の構造と機能及び疾病	1後	2								1	
	地球の環境	1前	2								1	
	統計学	1後	2								1	
	脳科学	1後	2								1	
人間の理解 文学	文学	1前	2								1	
	哲学	1前	2								1	
	倫理学	1前	2								1	
	対人関係論	3前	2								1	
人間の理解 文学	文化人類学	1後	2								1	
	コミュニケーション科目	日本語表現法演習Ⅰ	1前	1								1
		日本語表現法演習Ⅱ	1後	1								1
日本語表現法演習Ⅲ		2前	1								1	
日本語表現法演習Ⅳ		2後	1								1	
異文化コミュニケーション論		2前	2								1	
コミュニケーション論		2後	2		2		2				1	
表現アートセラピー演習Ⅰ		1前	1			1					1	
表現アートセラピー演習Ⅱ		1後	1			1					1	
コミュニケーション科目	フィールドスタディⅠ	3前	1				2	1			1	
	フィールドスタディⅡ	3後	1				2	1			1	
	フィールドスタディⅢ	4前	1				2	1			1	
キャリア科目	キャリアデザインⅠ	1前	1								1	
	キャリアデザインⅡ	2後	1			1					1	
	キャリアデザインⅢ	3後	1			1					1	
	キャリアデザインⅣ	4前	1			1					1	
	インターンシップⅠ	2後	1			1					1	
	インターンシップⅡ	3前	1			1					1	
インターンシップⅢ	3後	1			1					1		
小計(53科目)	-	-	18	54	0	6	0	3	1	0	23	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	入門 心理学基礎ゼミナールⅠ	1前	1			4	1	2			1		
	心理学基礎ゼミナールⅡ	1後	1			4	1	2			1		
基礎科目	情報処理 情報処理演習(インターネット)	1前	1								1		
	情報処理演習(文書作成)	1前	1								1		
	情報処理演習(表計算)	1後	1								1		
	情報処理演習(プレゼンテーション)	1後	1								1		
	語学	日本語Ⅰ(留学生向け)	1前		1							1	
		日本語Ⅱ(留学生向け)	1後		1							1	
		日本語Ⅲ(留学生向け)	2前		1							1	
		日本語Ⅳ(留学生向け)	2後		1							1	
	語学	英語Ⅰ	1前	1				1					
		英語Ⅱ	1後	1				1					
		心理学ビジネス英語Ⅰ	2前		1			1					
心理学ビジネス英語Ⅱ		2後		1			1						
心理学英語文献演習Ⅰ		2前		1			1						
心理学英語文献演習Ⅱ	2後		1			1							
基礎・教養科目	社会の理解 社会学	社会学	1前		2							1	
		法学	1前		2							1	
	社会の理解 社会学	経済学	1後		2							1	
		経営学	2前		2				1				
		地域文化論	1前		2							1	
		ジェンダー・人権論	1前		2							1	
		時事問題講読Ⅰ	3前		1							1	
	社会の理解 社会学	時事問題講読Ⅱ	3後		1							1	
		自然の理解 生物学	生物学	1前		2							1
			健康科学(食と健康)	1前		2							2
自然の理解 生物学		人体の構造と機能及び疾病	1後		2							1	
	地球の環境	1前		2							1		
	統計学	1後		2							1		
	脳科学	1後		2							1		
人間の理解 文学	文学	1前		2							1		
	哲学	1前		2							1		
	倫理学	1前		2							1		
	対人関係論	3前		2							1		
人間の理解 文学	文化人類学	1後		2							1		
	コミュニケーション科目	日本語表現法演習Ⅰ	1前		1							1	
		日本語表現法演習Ⅱ	1後		1							1	
日本語表現法演習Ⅲ		2前		1							1		
日本語表現法演習Ⅳ		2後		1							1		
異文化コミュニケーション論		2前		2							1		
コミュニケーション論		2後		2		2	1	1					
表現アートセラピー演習Ⅰ		1前		1			1						
表現アートセラピー演習Ⅱ		1後		1			1						
コミュニケーション科目	フィールドスタディⅠ	3前		1			1	2			1		
	フィールドスタディⅡ	3後		1			1	2			1		
	フィールドスタディⅢ	4前		1			1	2			1		
キャリア科目	キャリアデザインⅠ	1前		1							1		
	キャリアデザインⅡ	2後		1			1				1		
	キャリアデザインⅢ	3後		1			1				1		
	キャリアデザインⅣ	4前		1			1				1		
	インターンシップⅠ	2後		1			1				1		
	インターンシップⅡ	3前		1			1				1		
インターンシップⅢ	3後		1			1				1			
小計(53科目)	-	-	18	54	0	7	1	3	0	0	24		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	学部共通	心理学概論Ⅰ	1前	2			1					
		心理学概論Ⅱ	1後	2			1					
		ビジネス心理学概論	1後	2			3		1			
		健康・医療心理学	3前	2			1		1			
		福祉心理学	1後	2						1		1
		教育・学校心理学	3後	2			2					
		司法・犯罪心理学	4前	2								3
心理学基礎科目	心理学研究法	心理学研究法	2前	2			1					
		心理学研究法演習	2前	1				1				
		心理学統計法	2後	2			1					
		心理学統計法演習	2後	1				1				
		心理学実験Ⅰ	2前	2				1				
		心理学実験Ⅱ	2後	2				1				
	基礎心理学	知覚・認知心理学	2前	2			1					1
		学習・言語心理学	2後	2								
		感情・人格心理学	2後	2			1					
		神経・生理心理学	2前	2			1					
		発達心理学	2前	2			2					
		生涯発達心理学Ⅰ(乳幼児期)	3前	2								1
		生涯発達心理学Ⅱ(児童期・青年期)	3前	2			1					
		生涯発達心理学Ⅲ(成人期・老年期)	3前	2								1
		心理学展開科目	ビジネス心理学関係	経営組織論	3前	2			1			
組織行動論	3後			2							1	
経営戦略論	3前			2							1	
色彩心理学	3前			2			1					
色彩心理学演習	3後			1			1					
ストレス・マネジメント論	3後			2			1					
公認心理師関係	ポジティブ心理学		3後	2			1					
	コミュニティー心理学		3前	2			1					
	マーケティング論		3前	2							1	
	行動経済学		3後	2							1	
	マスメディア論		3後	2							1	
	公認心理師の職責		2前	2			2					
	臨床心理学概論		2前	2			3					
	社会・集団・家族心理学		2後	2			1		1			
	障害者・障害児心理学		3後	2								2
ゼミナール(卒業研究を含む)	心理的アセスメント	3前	2					1				
	心理学的支援法	2後	2			1		1				
	産業・組織心理学	4前	2							1		
	精神疾患とその治療	3前	2							1		
	関係行政論	2前	2							1		
	チーム医療論	4後	2			1		1				
	発達障害児支援論	3後	2			2			1			
	心理検査法演習	3後	1					1				
	集団心理療法演習Ⅰ	2前	1					1				
	集団心理療法演習Ⅱ	2後	1					1				
	心理演習Ⅰ	2後	1					2	1		1	
	心理演習Ⅱ	3前	1					2	1		1	
	心理実習Ⅰ	3後	2					2	1		1	
	心理実習Ⅱ	4前	2					2	1		1	
	小計(63科目)	-	12	96	0	6	0	3	1	0	14	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	学部共通	心理学概論Ⅰ	1前	2			1					
		心理学概論Ⅱ	1後	2			1					
		ビジネス心理学概論	1後	2			3		1			
		健康・医療心理学	3前	2			1		1			1
		福祉心理学	1後	2						1		
		教育・学校心理学	3後	2			2					
		司法・犯罪心理学	4前	2								1
心理学基礎科目	心理学研究法	心理学研究法	2前	2			1					
		心理学研究法演習	2前	1					1			
		心理学統計法	2後	2			1					
		心理学統計法演習	2後	1					1			
		心理学実験Ⅰ	2前	2					1			
		心理学実験Ⅱ	2後	2					1			
	基礎心理学	知覚・認知心理学	2前	2			1					
		学習・言語心理学	2後	2								1
		感情・人格心理学	2後	2			1					
		神経・生理心理学	2前	2			1					
		発達心理学	2前	2			2					
		生涯発達心理学Ⅰ(乳幼児期)	3前	2								1
		生涯発達心理学Ⅱ(児童期・青年期)	3前	2			1					
		生涯発達心理学Ⅲ(成人期・老年期)	3前	2								1
		心理学展開科目	ビジネス心理学関係	経営組織論	3前	2			1			
組織行動論	3後			2							1	
経営戦略論	3後			2							1	
色彩心理学	3前			2			1					
色彩心理学演習	3後			1			1					
ストレス・マネジメント論	3後			2			1					
公認心理師関係	ポジティブ心理学		3後	2			1					
	コミュニティー心理学		3前	2			1					
	マーケティング論		3前	2							1	
	行動経済学		3後	2							1	
	マスメディア論		3後	2							1	
	公認心理師の職責		2前	2			2					
	臨床心理学概論		2前	2			3					
	社会・集団・家族心理学		2後	2			1		2			
	障害者・障害児心理学		3後	2								2
ゼミナール(卒業研究を含む)	心理的アセスメント	3前	2					1				
	心理学的支援法	2後	2			1		1				
	産業・組織心理学	4前	2							1		
	精神疾患とその治療	3前	2							2		
	関係行政論	2前	2							1		
	チーム医療論	4後	2			1		1				
	発達障害児支援論	3後	2			2			1			
	心理検査法演習	3後	1					1				
	集団心理療法演習Ⅰ	2前	1					1				
	集団心理療法演習Ⅱ	2後	1					1				
	心理演習Ⅰ	2後	1					1	2		1	
	心理演習Ⅱ	3前	1					1	2		1	
	心理実習Ⅰ	3後	2					1	2		1	
	心理実習Ⅱ	4前	2					1	2		1	
	小計(63科目)	-	12	96	0	6	1	3	0	0	11	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
合計(116科目)		-	30	150	0	6	0	3	1	0	35
卒業要件及び履修方法											
<p>(必修科目30単位、語学の選択科目から2単位以上、社会の理解、自然の理解及び人間の理解の選択科目から6単位以上、学部共通の選択科目から4単位以上、心理学基礎科目の選択科目から12単位以上、心理学展開科目の選択科目から30単位以上、ゼミナール(卒業研究を含む)から6単位修得し、124単位以上修得すること。心理実習Ⅰ及び心理実習Ⅱはビジネス心理コースの学生は履修することができない。ビジネス心理コースの学生はビジネス心理コース演習Ⅰ～Ⅳを必ず履修すること。また、ビジネス心理コース演習Ⅴ～Ⅵまたは卒業研究を必ず履修すること。公認心理師コースの学生は公認心理師コース演習Ⅰ～Ⅳを必ず履修すること。また、公認心理師コース演習Ⅴ～Ⅵまたは卒業研究を必ず履修すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))</p>											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
合計(116科目)		-	30	150	0	7	1	3	0	0	35
卒業要件及び履修方法											
<p>(必修科目30単位、語学の選択科目から2単位以上、社会の理解、自然の理解及び人間の理解の選択科目から6単位以上、学部共通の選択科目から4単位以上、心理学基礎科目の選択科目から12単位以上、心理学展開科目の選択科目から30単位以上、ゼミナール(卒業研究を含む)から6単位修得し、124単位以上修得すること。心理実習Ⅰ及び心理実習Ⅱはビジネス心理コースの学生は履修することができない。ビジネス心理コースの学生はビジネス心理コース演習Ⅰ～Ⅳを必ず履修すること。また、ビジネス心理コース演習Ⅴ～Ⅵまたは卒業研究を必ず履修すること。公認心理師コースの学生は公認心理師コース演習Ⅰ～Ⅳを必ず履修すること。また、公認心理師コース演習Ⅴ～Ⅵまたは卒業研究を必ず履修すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))</p>											

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	入門	心理学基礎ゼミナールⅠ	1前	1			4	1	2			1	
		心理学基礎ゼミナールⅡ	1後	1			4	1	2			1	
	情報処理	情報処理演習(インターネット)	1前	1									1
		情報処理演習(文書作成)	1前	1									1
		情報処理演習(表計算)	1後	1									1
		情報処理演習(プレゼンテーション)	1後	1									1
			1後	1									1
	語学	日本語Ⅰ(留学生向け)	1前		1								1
		日本語Ⅱ(留学生向け)	1後		1								1
		日本語Ⅲ(留学生向け)	2前		1								1
		日本語Ⅳ(留学生向け)	2後		1								1
		英語Ⅰ	1前	1									1
英語Ⅱ		1後	1									1	
心理学ビジネス英語Ⅰ		2前		1								1	
心理学ビジネス英語Ⅱ		2後		1								1	
心理学英語文献演習Ⅰ		2前		1								1	
心理学英語文献演習Ⅱ		2後		1								1	
基礎・教養科目	社会の理解	社会学	1前		2								1
		法学	1前		2								1
		経済学	1後		2								1
		経営学	2前		2		1						1
		地域文化論	1前	2									1
		ジェンダー・人権論	1前		2								1
	自然の理解	時事問題講読Ⅰ	3前		1								1
		時事問題講読Ⅱ	3後		1								1
		生物学	1前		2								1
		健康科学(食と健康)	1前		2							2	1
		人体の構造と機能及び疾病	1後		2								1
		地球の環境	1前		2								1
人間の理解	統計学	1後		2								1	
	脳科学	1後		2								1	
	文学	1前		2								1	
	哲学	1前		2								1	
	倫理学	1前		2								1	
	対人関係論	3前		2								1	
文化人類学	1後		2								1		
コミュニケーション科目	日本語表現法演習Ⅰ	1前	1									1	
	日本語表現法演習Ⅱ	1後	1									1	
	日本語表現法演習Ⅲ	2前		1								1	
	日本語表現法演習Ⅳ	2後		1								1	
	異文化コミュニケーション論	2前		2								1	
	コミュニケーション論	2後		2		2	1	1				1	
	表現アートセラピー演習Ⅰ	1前		1		1						1	
	表現アートセラピー演習Ⅱ	1後		1		1						1	
	フィールドスタディⅠ	3前	1				1	1	1			1	
	フィールドスタディⅡ	3後	1				1	1	1			1	
フィールドスタディⅢ	4前		1			1	1	1			1		
キャリア科目	キャリアデザインⅠ	1前		1								1	
	キャリアデザインⅡ	2後		1		1						1	
	キャリアデザインⅢ	3後		1		1						1	
	キャリアデザインⅣ	4前		1		1						1	
	インターンシップⅠ	2後		1		1						1	
	インターンシップⅡ	3前		1		1						1	
	インターンシップⅢ	3後		1		1						1	
小計(53科目)	-		18	54	0	6	1	2	1	0		23	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	入門	心理学基礎ゼミナールⅠ	1前	1			4	1	2			1	
		心理学基礎ゼミナールⅡ	1後	1			4	1	2			1	
	情報処理	情報処理演習(インターネット)	1前	1									1
		情報処理演習(文書作成)	1前	1									1
		情報処理演習(表計算)	1後	1									1
		情報処理演習(プレゼンテーション)	1後	1									1
			1後	1									1
	語学	日本語Ⅰ(留学生向け)	1前		1								1
		日本語Ⅱ(留学生向け)	1後		1								1
		日本語Ⅲ(留学生向け)	2前		1								1
		日本語Ⅳ(留学生向け)	2後		1								1
		英語Ⅰ	1前	1									1
英語Ⅱ		1後	1									1	
心理学ビジネス英語Ⅰ		2前		1								1	
心理学ビジネス英語Ⅱ		2後		1								1	
心理学英語文献演習Ⅰ		2前		1								1	
心理学英語文献演習Ⅱ		2後		1								1	
基礎・教養科目	社会の理解	社会学	1前		2								1
		法学	1前		2								1
		経済学	1前		2								1
		経営学	2前		2		1						1
		地域文化論	1前	2									1
		ジェンダー・人権論	1前		2								1
	自然の理解	時事問題講読Ⅰ	3前		1								1
		時事問題講読Ⅱ	3後		1								1
		生物学	1前		2								1
		健康科学(食と健康)	1前		2							2	1
		人体の構造と機能及び疾病	1後		2								1
		地球の環境	1前		2								1
人間の理解	統計学	1後		2								1	
	脳科学	1後		2								1	
	文学	1前		2								1	
	哲学	1前		2								1	
	倫理学	1前		2								1	
	対人関係論	3前		2								1	
文化人類学	1後		2								1		
コミュニケーション科目	日本語表現法演習Ⅰ	1前	1									1	
	日本語表現法演習Ⅱ	1後	1									1	
	日本語表現法演習Ⅲ	2前		1								1	
	日本語表現法演習Ⅳ	2後		1								1	
	異文化コミュニケーション論	2前		2								1	
	コミュニケーション論	2後		2		2	1	1				1	
	表現アートセラピー演習Ⅰ	1前		1		1						1	
	表現アートセラピー演習Ⅱ	1後		1		1						1	
	フィールドスタディⅠ	3前	1				1	1	2			1	
	フィールドスタディⅡ	3後	1				1	1	2			1	
フィールドスタディⅢ	4前		1			1	1	2			1		
キャリア科目	キャリアデザインⅠ	1前		1								1	
	キャリアデザインⅡ	2後		1		1						1	
	キャリアデザインⅢ	3後		1		1						1	
	キャリアデザインⅣ	4前		1		1						1	
	インターンシップⅠ	2後		1		1						1	
	インターンシップⅡ	3前		1		1						1	
	インターンシップⅢ	3後		1		1						1	
小計(53科目)	-		18	54	0	6	1	3	0	0		23	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	学部共通	心理学概論Ⅰ	1前	2			1					
		心理学概論Ⅱ	1後	2			1					
		ビジネス心理学概論	1後	2			3	1				
		健康・医療心理学	3前		2		1	1			1	
		福祉心理学	1後		2					1		1
		教育・学校心理学	3後		2		2					
		司法・犯罪心理学	4前		2							3
		心理学研究法	2前	2			1					
		心理学研究法演習	2前		1			1				
心理学基礎科目	研究法	心理学統計法	2後	2			1					
		心理学統計法演習	2後		1			1				
		心理学実験Ⅰ	2前		2			1				
		心理学実験Ⅱ	2後		2			1				
		知覚・認知心理学	2前		2		1					
		学習・言語心理学	2後		2						1	
	基礎心理学	感情・人格心理学	2後		2		1					
		神経・生理心理学	2後		2		1					
		発達心理学	2前		2		2					
		生涯発達心理学Ⅰ(乳幼児期)	3前		2						1	
		生涯発達心理学Ⅱ(児童期・青年期)	3後		2		1					
		生涯発達心理学Ⅲ(成人期・老年期)	3前		2						1	
		ビジネス心理学関係	経営組織論	3前		2		1				
			組織行動論	3後		2						1
			経営戦略論	3前		2						1
			色彩心理学	3前		2		1				
			色彩心理学演習	3後		1		1				
			ストレス・マネジメント論	3後		2		1				
ポジティブ心理学	3後			2		1						
コミュニティー心理学	3前			2		1						
マーケティング論	3前			2						1		
行動経済学	3後			2						1		
マスメディア論	3後			2						1		
心理学展開科目	公認心理師関係		公認心理師の職責	2前		2		2				
		臨床心理学概論	2前	2			3					
		社会・集団・家族心理学	2後		2		1	1				
		障害者・障害児心理学	3後		2						2	
		心理的アセスメント	3前		2			1				
		心理学的支援法	2後		2		1	1				
		産業・組織心理学	4前		2						1	
		精神疾患とその治療	2前		2						1	
		関係行政論	2前		2						1	
		チーム医療論	4後		2		1	1			1	
		発達障害児支援論	3後		2		2		1			
		心理検査法演習	3後		1						1	
	ゼミナール(卒業研究を含む)	ビジネス心理コース演習Ⅰ	2前		1		2	1			1	
		ビジネス心理コース演習Ⅱ	2後		1		2	1			1	
		ビジネス心理コース演習Ⅲ	3前		1		2	1			1	
		ビジネス心理コース演習Ⅳ	3後		1		2	1			1	
		ビジネス心理コース演習Ⅴ	4前		1		2	1			1	
		ビジネス心理コース演習Ⅵ	4後		1		2	1			1	
		公認心理師コース演習Ⅰ	2前		1		3	1	1			
		公認心理師コース演習Ⅱ	2後		1		3	1	1			
		公認心理師コース演習Ⅲ	3前		1		3	1	1			
公認心理師コース演習Ⅳ	3後		1		3	1	1					
公認心理師コース演習Ⅴ	4前		1		3	1	1					
公認心理師コース演習Ⅵ	4後		1		3	1	1					
卒業研究	4通		4		3	1				1		
小計(63科目)			-	12	96	0	6	1	2	1	0	14

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	学部共通	心理学概論Ⅰ	1前	2			1					
		心理学概論Ⅱ	1後	2			1					
		ビジネス心理学概論	1後	2			3	1				
		健康・医療心理学	3前		2		1	1				
		福祉心理学	1後		2					1		1
		教育・学校心理学	3後		2		2					
		司法・犯罪心理学	4前		2							3
		心理学研究法	2前	2			1					
		心理学研究法演習	2前		1				1			
心理学基礎科目	研究法	心理学統計法	2後	2			1					
		心理学統計法演習	2後		1				1			
		心理学実験Ⅰ	2前		2			1				
		心理学実験Ⅱ	2後		2			1				
		知覚・認知心理学	2前		2		1					
		学習・言語心理学	2後		2						1	
	基礎心理学	感情・人格心理学	2後		2		1					
		神経・生理心理学	2後		2		1					
		発達心理学	2前		2		2					
		生涯発達心理学Ⅰ(乳幼児期)	3前		2						1	
		生涯発達心理学Ⅱ(児童期・青年期)	3後		2		1					
		生涯発達心理学Ⅲ(成人期・老年期)	3前		2						1	
		ビジネス心理学関係	経営組織論	3前		2		1				
			組織行動論	3後		2						1
			経営戦略論	3前		2						1
			色彩心理学	3前		2		1				
			色彩心理学演習	3後		1		1				
			ストレス・マネジメント論	3後		2		1				
ポジティブ心理学	3後			2		1						
コミュニティー心理学	3前			2		1						
マーケティング論	3前			2						1		
行動経済学	3後			2						1		
マスメディア論	3後			2						1		
心理学展開科目	公認心理師関係		公認心理師の職責	2前		2		2				
		臨床心理学概論	2前	2			3					
		社会・集団・家族心理学	2後		2		1	1			2	
		障害者・障害児心理学	3後		2						2	
		心理的アセスメント	3前		2			1				
		心理学的支援法	2後		2		1	1				
		産業・組織心理学	4前		2						1	
		精神疾患とその治療	2前		2						1	
		関係行政論	2前		2						1	
		チーム医療論	4後		2		1	1			1	
		発達障害児支援論	3後		2		2		1			
		心理検査法演習	3後		1						1	
	ゼミナール(卒業研究を含む)	ビジネス心理コース演習Ⅰ	2前		1		2	1			1	
		ビジネス心理コース演習Ⅱ	2後		1		2	1			1	
		ビジネス心理コース演習Ⅲ	3前		1		2	1			1	
		ビジネス心理コース演習Ⅳ	3後		1		2	1			1	
		ビジネス心理コース演習Ⅴ	4前		1		2	1			1	
		ビジネス心理コース演習Ⅵ	4後		1		2	1			1	
		公認心理師コース演習Ⅰ	2前		1		3	1	1			
		公認心理師コース演習Ⅱ	2後		1		3	1	1			
		公認心理師コース演習Ⅲ	3前		1		3	1	1			
公認心理師コース演習Ⅳ	3後		1		3	1	1					
公認心理師コース演習Ⅴ	4前		1		3	1	1					
公認心理師コース演習Ⅵ	4後		1		3	1	1					
卒業研究	4通		4		3	1				1		
小計(63科目)			-	12	96	0	6	1	3	0	0	14

卒業要件及び履修方法

(必修科目30単位、語学の選択科目から2単位以上、社会の理解、自然の理解及び人間の理解の選択科目から6単位以上、学部共通の選択科目から4単位以上、心理学基礎科目の選択科目から12単位以上、心理学展開科目の選択科目から30単位以上、ゼミナール(卒業研究を含む)から6単位修得し、124単位以上修得すること。心理実習Ⅰ及び心理実習Ⅱはビジネス心理コースの学生は履修することができない。ビジネス心理コースの学生はビジネス心理コース演習Ⅰ～Ⅳを必ず履修すること。また、ビジネス心理コース演習Ⅴ～Ⅵまたは卒業研究を必ず履修すること。公認心理師コースの学生は公認心理師コース演習Ⅰ～Ⅳを必ず履修すること。また、公認心理師コース演習Ⅴ～Ⅵまたは卒業研究を必ず履修すること。
(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

卒業要件及び履修方法

(必修科目30単位、語学の選択科目から2単位以上、社会の理解、自然の理解及び人間の理解の選択科目から6単位以上、学部共通の選択科目から4単位以上、心理学基礎科目の選択科目から12単位以上、心理学展開科目の選択科目から30単位以上、ゼミナール(卒業研究を含む)から6単位修得し、124単位以上修得すること。心理実習Ⅰ及び心理実習Ⅱはビジネス心理コースの学生は履修することができない。ビジネス心理コースの学生はビジネス心理コース演習Ⅰ～Ⅳを必ず履修すること。また、ビジネス心理コース演習Ⅴ～Ⅵまたは卒業研究を必ず履修すること。公認心理師コースの学生は公認心理師コース演習Ⅰ～Ⅳを必ず履修すること。また、公認心理師コース演習Ⅴ～Ⅵまたは卒業研究を必ず履修すること。
(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「**臨地実務実習**」による授業科目には「【臨】」、「**連携実務演習**」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- (1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- (1) 開講期の変更
- ・ 時間割編成において、「法学」の開講期を「1年後期」から「1年前期」に変更。
- (2) 職位変更に伴う担当者数の変更
- ・ 心理学基礎ゼミナールⅠ及びⅡの担当者数を「教授4、講師3」から「教授4、准教授1、講師2」に変更。
 - ・ コミュニケーション論の担当者数を「教授2、講師2」から「教授2、准教授1、講師1」に変更。
 - ・ フィールドスタディⅠ、Ⅱ及びⅢの担当者数を「講師2、助教1、兼任・兼任1」から「准教授1、講師1、助教1、兼任・兼任1」に変更。
 - ・ 心理的アセスメントの担当者数を「講師1」から「准教授1」に変更。
 - ・ 心理学的支援法の担当者数を「教授1、講師1」から「教授1、准教授1」に変更。
 - ・ 心理検査法演習の担当者数を「講師1」から「准教授1」に変更。
 - ・ 集団心理療法演習Ⅰ及びⅡの担当者数を「講師1」から「准教授1」に変更。
 - ・ 心理演習Ⅰ及びⅡの担当者数を「講師2、助教1、兼任・兼任1」から「准教授1、講師1、助教1、兼任・兼任1」に変更。
 - ・ 心理実習Ⅰ及びⅡの担当者数を「講師2、助教1、兼任・兼任1」から「准教授1、講師1、助教1、兼任・兼任1」に変更。
 - ・ 公認心理師コース演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ及びⅥの担当者数を「教授3、講師2」から「教授3、准教授1、講師1」に変更。
 - ・ 卒業研究の担当者数を「教授3、講師1、兼任・兼任1」から「教授3、准教授1、兼任・兼任1」に変更。

【令和3年度】

- (1) 開講期の変更
- ・ 時間割編成において、「法学」の開講期を「1年次後期」から「1年次前期」に変更。
 - ・ 時間割編成において、「文学」の開講期を「1年次前期」から「1年次後期」に変更。
 - ・ 時間割編成において、「倫理学」の開講期を「1年次前期」から「1年次後期」に変更。
 - ・ 時間割編成において、「経済学」の開講期を「1年次後期」から「1年次前期」に変更。
- (2) 職位変更に伴う担当者数の変更
- ・ フィールドスタディⅠ、Ⅱ及びⅢの担当者数を「准教授1、講師1、助教1、兼任・兼任1」から「准教授1、講師2、兼任・兼任1」に変更。
 - ・ 福祉心理学の担当者数を「助教1、兼任・兼任1」から「講師1、兼任・兼任1」に変更。
 - ・ 社会・集団・家族心理学の担当者数を「教授1、講師1、助教1」から「教授1、講師2」に変更。
 - ・ 発達障害児支援論の担当者数を「教授2、助教1」から「教授2、講師1」に変更。
 - ・ 心理演習Ⅰ及びⅡの担当者数を「准教授1、講師1、助教1、兼任・兼任1」から「准教授1、講師2、兼任・兼任1」に変更。
 - ・ 心理実習Ⅰ及びⅡの担当者数を「准教授1、講師1、助教1、兼任・兼任1」から「准教授1、講師2、兼任・兼任1」に変更。

【令和4年度】

- (1) 開講期の変更
- ・ 時間割編成において、「法学」の開講期を「1年次後期」から「1年次前期」に変更。
 - ・ 時間割編成において、「経済学」の開講期を「1年次前期」から「1年次後期」に変更。
 - ・ 時間割編成において、「文学」の開講期を「1年次後期」から「1年次前期」に変更。
 - ・ 時間割編成において、「倫理学」の開講期を「1年次後期」から「1年次前期」に変更。
 - ・ 時間割編成において、「経営戦略論」の開講時期を「3年次前期」から「3年次後期」に変更。
- (2) 職位変更に伴う担当者数の変更
- ・ フィールドスタディⅠ、Ⅱ及びⅢの担当者数を「准教授1、講師1、助教1、兼任・兼任1」から「准教授1、講師2、兼任・兼任1」に変更。
 - ・ 福祉心理学の担当者数を「助教1、兼任・兼任1」から「講師1、兼任・兼任1」に変更。
 - ・ 社会・集団・家族心理学の担当者数を「教授1、講師1、助教1」から「教授1、講師2」に変更。
 - ・ 発達障害児支援論の担当者数を「教授2、助教1」から「教授2、講師1」に変更。
 - ・ 心理演習Ⅰ及びⅡの担当者数を「准教授1、講師1、助教1、兼任・兼任1」から「准教授1、講師2、兼任・兼任1」に変更。
 - ・ 心理実習Ⅰ及びⅡの担当者数を「准教授1、講師1、助教1、兼任・兼任1」から「准教授1、講師2、兼任・兼任1」に変更。
 - ・ 健康・医療心理学の担当者数を「教授、講師、兼任・兼任1」から「教授、講師」に変更。
 - ・ 公認心理師コース演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの担当者数を「教授3、准教授1、講師1」から「教授3、准教授1、講師2」に変更。
 - ・ 精神疾患とその治療の担当者「兼任1」から「兼任2」に変更。

【令和5年度】

(1) 開講期の変更

- ・ 時間割編成において、「法学」の開講期を「1年次後期」から「1年次前期」に変更。
- ・ 時間割編成において、「経営戦略論」の開講時期を「3年次前期」から「3年次後期」に変更。

(2) 職位変更に伴う担当者数の変更

- ・ フィールドスタディⅠ、Ⅱ及びⅢの担当者数を「准教授1、講師1、助教1、兼任・兼任1」から「准教授1、講師2、兼任・兼任1」に変更。
- ・ 心理学基礎ゼミナールⅠ及びⅡの担当者数を「教授4、講師3」から「教授4、准教授1、講師2」に変更。
- ・ コミュニケーション論の担当者数を「教授2、講師2」から「教授2、准教授1、講師1」に変更。
- ・ 福祉心理学の担当者数を「助教1、兼任・兼任1」から「講師1、兼任・兼任1」に変更。
- ・ 司法・犯罪心理学の担当者数を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 社会・集団・家族心理学の担当者数を「教授1、講師1、助教1」から「教授1、講師2」に変更。
- ・ 発達障害児支援論の担当者数を「教授2、助教1」から「教授2、講師1」に変更。
- ・ 心理演習Ⅰ及びⅡの担当者数を「准教授1、講師1、助教1、兼任・兼任1」から「准教授1、講師2、兼任・兼任1」に変更。
- ・ 心理実習Ⅰ及びⅡの担当者数を「准教授1、講師1、助教1、兼任・兼任1」から「准教授1、講師2、兼任・兼任1」に変更。
- ・ 健康・医療心理学の担当者数を「教授、講師、兼任・兼任1」から「教授、講師」に変更。
- ・ 公認心理師コース演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの担当者数を「教授3、講師2」から「教授3、准教授1、講師2」に変更。
- ・ 公認心理師コース演習Ⅴ、Ⅵの担当者数を「教授3、講師2」から「教授3、准教授1、講師1」に変更。
- ・ 卒業研究の担当者数を「教授3、講師1、兼任・兼任1」から「教授3、准教授1、兼任・兼任1」に変更。
- ・ 精神疾患とその治療の担当者数を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・ 心理検査法演習の担当者数を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・ 集団心理療法演習Ⅰ・Ⅱの担当者数を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・ 心理的アセスメントの担当者数を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・ 心理学的支援法の担当者数を「教授1、講師1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・ 英語Ⅰ・Ⅱ、心理学ビジネス英語Ⅰ・Ⅱ、心理学英語文献演習Ⅰ・Ⅱの担当者数を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
23 科目	93 科目	0 科目	116 科目	[] 科目	[] 科目	[] 科目	[] 科目	変更なし

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{116} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	宇部フロンティア大 学短期大学部（必要面 積2,600㎡）と共用	
	校舎敷地	㎡	9,455㎡	1,010㎡	10,465㎡		
	運動場用地	㎡	2,650㎡	㎡	2,650㎡		
	小 計	㎡	12,105㎡	㎡	12,105㎡		
	そ の 他	㎡	20,971㎡	㎡	20,971㎡		
	合 計	㎡	33,076㎡	1,010㎡	34,086㎡		
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	宇部フロンティア大 学短期大学部（必要面 積3,600㎡）と共用		
	㎡	12,323㎡	1,320㎡	13,643㎡			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	臨床心理相談面接室、 プレイルーム等の設置によ る(5)	
	18室	6 12室	8室	2室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数				
	心理学部 心理学科		11 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕				電子ジャーナル
		冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点
	心理学部	8,581 [1,298]	83 [16]	0 [0]	198	96	0
		(8,147 [1,290])			178		
		(- 8,034 [-1,290])	(91 [16])		177		
(- 7,956 [-1,290])		(- 74 [-16])		172			
計	8,581 [1,298]	83 [16]	0 [0]	198	96	0	
	(8,147 [1,290])			178			
	(- 8,034 [-1,290])	(91 [16])		177			
	(- 7,956 [-1,290])	(- 74 [-16])	(0 [0])	172			
(6) 図 書 館	面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	593.38㎡		86席	55,000冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体	
	1,378㎡						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	150千円	150千円	図書購入費	0千円	400千円
	共 同 研 究 費 等	0千円	0千円	設備購入費	0千円	100千円	100千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		1,260千円	1,010千円	1,010千円	1,010千円	千円	千円
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等					

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	宇部フロンティア大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
心理学部																		
心理学科	4	70	3年次5	290	学士(心理学)	0.64	-	0.60	-	-	令和2	山口県宇部市文京台二丁目1番1号						
看護学部																		
看護学科	4	80	3年次5	330	学士(看護学)	0.81	-	0.72	-	-	平成19	同上						
大学全体	4	180	3年次20	62	-	-	-	-	-	-	-	-						

大学の名称	宇部フロンティア大学短期大学部										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
保育学科	2	50	-	100	短期大学士(保育)	0.64	-	0.66	-	-	昭和40	山口県宇部市文京台二丁目1番1号						
食物栄養学科	2	50	-	100	短期大学士(食物栄養)	0.79	-	0.97	-	-	昭和42	同上						
大学全体	2	100	-	200	-	-	-	-	-	-	-	-						

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (平成31年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	【届出】 遵守事項 教員組織編制の将来構想として、完成年度以降の専任教員採用については、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るべく、学科全体として専門分野・職階・年齢構成に偏りがないよう配慮を行い、教員組織の継続性に問題が出ないようにすることとしている。	履行中 完成年度までは計画している教員数で運営する。その後の採用については、定年規程の趣旨を踏まえるとともに、教員組織編制の将来構想に配慮して行う。
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	【A C】 指摘事項 (改善) 定年規程に定める退職年齢を超える一部の者の後任となる者等について、令和6年4月採用として公募、選考を行い、3名の採用予定者を決定した。後任に適任者がいない者は、引き続き公募していく。(5)	履行中 完成年度後の教員組織編制について検討するため、人事計画及びカリキュラム改正の開始を教授会に報告したうえで、ワーキンググループを設置し、教員組織編成の将来構想を策定した。定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用を行い、教育研究水準を低下させることがないよう教員を公募していく。(5)

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<心理学部 心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
FD・SD委員会、教学マネジメント委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
FD・SD委員会の委員は、学長、副学長、教務部長、学生部長、入試広報部長及び事務部長である。
教学マネジメント委員会の委員は、学長、副学長、教務部長、入試広報部長、学生部長、大学各学部長、短大各学部長、事務部長及び教務課長であり、審議内容によって学生代表及び外部委員を招集している。
令和4年度は、FD・SD委員会は全8回開催した。教学マネジメント委員会は、4月、7月に開催した。

c 委員会の審議事項等

FD・SD委員会の審議事項

(1) FD・SDの企画及び実施に関する事項
(2) FD・SDに関する情報の収集及び提供に関する事項
(3) FD・SDの実施に関わる支援及び評価に関する事項
(4) その他委員会が必要と認めた事項

教学マネジメント委員会の審議事項

(1) アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー及びディプロマポリシーに係る事項
(2) アセスメントポリシーに係る事項
(3) 教育課程の編成に係る事項
(4) 成績評価に係る事項
(5) 学修成果の把握・可視化に係る事項
(6) FD、SDに係る事項
(7) IRに係る事項
(8) 情報公開に係る事項
(9) その他教学マネジメントに関する事項

② 実施状況

a 実施内容

①FD・SD研修会の実施
②授業アンケートの実施
③アセスメントポリシーに基づくアセスメントの実施と情報の共有

b 実施方法

①については、毎年授業改善や管理・運営関係の内容を全学で実施している。
令和4年度は9月にFDとしてティーチングポートフォリオ作成ワークショップ及びSDとしてチームビルディングについて実施した。また、2月に全学FD、SDとして教育成果を把握をテーマにPROGの活用法及びアクティブラーニング実践報告を実施した。

②については、令和4年度は実習科目を除く科目で実施した。

③については、教学マネジメント委員会で作成し、大学評議会及び各教授会で報告される。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ①については、FD研修会は令和4年9月13日に実施し、教員22名の参加があった。FD・SD研修会は令和5年2月22日・27日に実施し、教職員53名が参加した。SD研修会は9月13日に実施し、管理系教員及び事務職員の28名が参加した。
- ②については、前期は7月から8月にかけて、後期は1月から2月にかけてwebアンケート形式で実施した。
- ③については、教学マネジメント委員会においてアセスメントを行い、大学評議会及び教授会において報告した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・3つのポリシーのアセスメント結果をもとにアセスメント報告書を作成している。アセスメント報告書は、重点取組課題が抽出されており、教授会でも報告され情報の共有を行っている。
- ・FD研修会で昨年度テーマとして取り上げたティーチングポートフォリオについて、中期計画でも計画を策定し、令和4年度より導入した。全教員（助手は除く）が作成し、学部長と面談し、評価を確定した。面談した結果は教学マネジメント委員会で取りまとめる。また、ティーチングポートフォリオの一部は学内で公開、閲覧でき、教員間で参考できるようにしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎年度、各学期の授業最終回頃に実施している。令和4年度は、webアンケート形式で、前期は7月から8月にかけて、後期は1月から2月にかけて実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケートの集計結果を、各教員にフィードバックしている。令和4年度は、webアンケート形式で行い、教員に集計結果を紙面で配付した。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーについて、入学生全員に配布するキャンパスガイドに記載し、前期オリエンテーションで丁寧に説明し、学生に理解を求めている。またディプロマ・ポリシーと科目の関係を表したカリキュラム・マップもキャンパスガイドに記載し、オリエンテーションで同様に説明している。

教育課程については、シラバスに記載している成績評価基準に基づき成績評価を行った。教員組織については、辞任した非常勤講師の後任も選任できており、学部の使命・目的達成のための体制は整っている。

入学者数については、入学定員70名に対し令和2年度より4年連続で入学定員未充足となっている。入試・広報委員会での広報活動の検討だけでなく、学科独自の広報活動も含め教授会においても検討している。入試広報課と協働して広報活動を行っており、定員充足に向け入学者の確保に努める。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年6月 公表予定

b 公表方法

・大学ウェブサイトにて公開予定（令和5年6月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和5年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受ける。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトにて公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。